

COMŒDIA illustré

薄井憲二 2009

バレエ・コレクション企画展

祝100周年“バレエ・リュス”

～衝撃のデビューからベル・エポック終焉まで～

2009/5/15 (Fri.)～2009/6/2 (Tue.)



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 2009

バレエ・コレクション企画展

祝100周年“バレエ・リュス”

～衝撃のデビューからベル・エポック終焉まで～

2009/5/15 (Fri.)～2009/6/2 (Tue.)

1909年5月18日のバレエ・リュスがパリに登場したことによってバレエは新時代を迎えたといっても過言ではありません。衰退していたフランスのバレエはバレエ・リュスによって息を吹き返し、“総合芸術”として社交界そして芸術界の両方にとって見逃せないものとなったのです。

このセルジュ・ディアギレフに率いられた1929年に彼の死によって幕を閉じるバレエ団は今年100周年を迎えます。100年たっても色あせないどころかその活動は今観ても新鮮であり、学ぶ点も多くあります。

また、私共のコレクションとの関係においても柱の一つとして重要な意味を持っています。そこで、この企画展において2年に渡り(年2回を予定)、まだ当センターではご紹介させていただいていない点も含め、その魅力と広範囲にわたる活動を取り上げていきたいと考えています。

今回はその衝撃的な1909年のデビュー、通年上演可能なカンパニーを結成する1911年、そこから世界が大きく変革を迎える1914年の第一次世界大戦までを中心にご紹介いたします。バレエ・リュスがパブリック・イメージを作り上げたのは、“バレエ・リュス時代”のこの前半期約5年間と言えるでしょう。そしてこのことが、その後の革新的な活動に繋がったとも言えます。

* バレエ・リュスとは[Ballets Russes] (=ロシア・バレエ団) というフランス語普通名詞ですが、当時はディアギレフのバレエ団のことをさしていました。

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション Vol.18

リファールの書棚

(期間：2009/7/14～2009/8/16 於：2階メインエントランス)

薄井憲二バレエ・コレクション企画展 2009

祝100周年“バレエ・リュス”

～米国ツアー・ニジンスキーをめぐって～

(期間：2010/3/2 (火)～2010/3/31 (水) 於：2階メインエントランス)

◎企画・監修 芳賀直子(はが・なおこ) 舞踊研究家 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

Hyogo Performing Arts Center

100th Anniversary of Ballets Russes

~From its shocking debut to the end of Belle Epoque era~



薄井憲二バレエ・コレクション企画展 2009

祝100周年“バレエ・リュス”

～衝撃のデビューからベル・エポック終焉まで～

1909～1914 年略年譜

1909年5月18日 パリ、シャトレ座(ロシア・シーズン)としてバレエ・リュスパリデビュー。ワツラフ・ニジンスキー、タマラ・カルサヴィナ、アドルフ・ボルムらがスターとなった。パウロヴァも参加し話題となる。(しかし一座は9月に母国ロシア、マリインスキー劇場シーズンが始まると同時に解散)
初演バレエ演目: 『アルミードの館』『ポロヴェツ人の踊り』『饗宴』『クレオパトラ』

1910年6月 パリ、オペラ座で公演、ベルリン、ブリュッセルでも公演
初演バレエ演目: 『カルナヴァル』『シェエラザード』『ジゼル』『火の鳥』『レ・オリエンタル』

1911年1月 通年公演を行うことのできるカンパニー正式に発足、モンテカルロ、ローマ、パリ、ロンドンで公演
初演バレエ演目: 『薔薇の精』『ナルシス』『サトコ』『ペトルーシユカ』『白鳥の湖』

1912年 ニジンスキーが『牧神の午後』で振付家デビューし、フォーキンは一座を去る。ベルリン、ドレスデン、ウィーン、ブダペスト、モンテカルロ、パリ、ロンドン、ドーヴィルで公演
初演バレエ演目: 『青い神』『タマル』『牧神の午後』『ダフニスとクロエ』

1913年 ニジンスキーが南アメリカ・ツアーの途中一座の群舞に加わっていた口モラ・ド・ブルツキーと結婚しバレエ団を解雇され、フォーキンは振付監督兼ダンサーとして一座を復帰。
ブダペスト、ブラハ、ドレスデン、ウィーン、ロンドン、リヨン、モンテカルロ、パリ、南アメリカ各地で公演
初演バレエ演目: 『遊戯』『春の祭典』『サロメの悲劇』

1914年1月 ディアギレフはニジンスキーの代わりになるようなダンサーをロシアに探しに出かけ、レオニード・マシーンを見出だす。
ドイツ各地、チューリヒ、モンテカルロ、パリ、ロンドンで上演
初演演目: 『蝶々』『ヨゼフ伝説』『ミダス』

*この年第一次世界大戦が勃発し、芸術面ではベル・エポックは終わったといわれる。バレエ・リュスも徐々に1920年代への胎動を見せ始める。その活動については次回企画展でご紹介します。



出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

- ◆バレエ・リュス『ペトルーシユカ』のハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-04] / 1911年6月13日 / パリ、シャトレ劇場) House program of Serge Diaghilew's Season of The Russian Ballet "Petrouchka" / 1911.6.13 / Paris, Théâtre du Châtelet / 27.3×20.4 (PRBRHP-04)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-05] / 1911年11月25日 / ロンドン、コヴェントガーデン劇場) House program of The Russian Ballet / 1911.11.25 / London, Royal Opera Covent Garden / 25.3×37.8 (PRBRHP-05)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-08] / 1913年2月27日 / ロンドン、コヴェントガーデン劇場) House program of The Russian Ballet / 1913.2.27 / London, Royal Opera house, Covent Garden / 25.3×37.8 (PRBRHP-08)
- ◆バレエ・リュス[シルフィード]のハウスプログラム (プログラム[PRBRHP-124] / 1912年6月27日 / ロンドン、コヴェントガーデン劇場) House program of Serge Diaghilew's Russian Ballet "Les Sylphides" / 1912.6.27 / London, Royal Opera Covent Garden / 14.0×9.0 (PRBRHP-124)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-142] / 1914年2月27日 / ドイツ、ハノーバー劇場) House program of Diaghilew's Russian Ballet / 1914.2.27 / Germany, Hanover / 28.3×21.1 (PRBRHP-142)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-145] / 1914年4月19日 / モンテカルロ歌劇場) House program of Serge Diaghilew's Season of The Russian Ballet / 1914.4.19 / Monaco, Théâtre de Monte-carlo / 27.8×18.9 (PRBRHP-145)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-147] / 1914年4月21日 / モンテカルロ歌劇場) House program of Serge Diaghilew's Season of the Russian Ballet / 1914.4.21 / Monaco, Théâtre de Monte-carlo / 27.7×18.9 (PRBRHP-147)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-148] / 1914年4月22日 / モンテカルロ歌劇場) House program of Serge Diaghilew's Season of the Russian Ballet / 1914.4.22 / Monaco, Théâtre de Monte-carlo / 27.7×19.1 (PRBRHP-148)
- ◆バレエ・リュス『イーゴリ』のハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-154] / ロンドン、ロイヤル・ドリュリーレン劇場) House program of Serge Diaghilew's Russian Ballet, Sir Joseph Beecham's Grand Season "Prince Igor" / London, Theatre Royal Drury Lane / 28.5×22.5 (PRBRHP-154)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-157] / ロンドン、ロイヤル・ドリュリーレン劇場) House program of Serge Diaghilew's Russian Ballet, Sir Joseph Beecham's Grand Season of Serge Diaghilew's Russian Ballet / London, Theatre Royal Drury Lane / 28.6×22.5 (PRBRHP-157)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-158] / 1913年～14年 / ドイツ、新劇場) House program of Serge Diaghilew's Russian Ballet / 1913-14 / Germany, Neues Theater / 23.4×12.1 (PRBRHP-158)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム(プログラム[PRBRHP-171] / 1911年6月24日～30日 / ロンドン、コヴェントガーデン劇場) House program of Serge Diaghilew's Season of the Russian Ballet / 1911.6.24-30 / London, Royal Opera Covent Garden / 23.5×18.2 (PRBRHP-171)
- ◆『コメディア・イリュストレ』(雑誌[MG-1028] / 1909年5月15日 / 1巻10号 / 表紙:レオン・バクスト<表紙写真> "Comœdia Illustrè" / 1909.5.15 / No.1 Vol.10 / Paris / Opera et Ballet, Cover design by Bakst, Leon for "Oiseau d'or" (MG-1028)
- ◆『コメディア・イリュストレ』(雑誌[MG-1032] / 1912年7月15日 / 4巻8号) "Comœdia Illustrè" / 1912.7.15 / No.4 Vol.8 / Paris (MG-1032)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム(プログラム[PRBRPF-01] / 1910年 / 表紙:レオン・バクスト / パリ・オペラ座) Program Official de la Saison Russes a l'Opera / 1910 / Cover design by Bakst, Leon / Paris, Theatre National de l'Opera / 32.0×24.7 / p.4 (PRBRPF-01)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム(プログラム[PRBRPF-02] / 1910年 / 表紙:レオン・バクスト / パリ・オペラ座) Program Official de la Saison Russes a l'Opera / 1910 / Cover design by Bakst, Leon / Paris, Theatre National de l'Opera / 32.0×24.7 (PRBRPF-02)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム(プログラム[PRBRPF-03] / 1912年 / 表紙:レオン・バクスト [『牧神の午後』 / パリ・オペラ座) Program Official de la Saison Russes a l'Opera / 1912 / Cover design by Bakst, Leon for "Prélude à l'après-midi d'un faune" / Paris, Theatre National de l'Opera / 31.8×24.6 / p.72 (PRBRPF-03)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム(プログラム[PRBRPF-04] / 1912年 / ロンドン、コヴェントガーデン劇場 Russian Ballet / 1912 / London, Royal Opera Covent Garden / 24.7×18.7 / p. 66 / (PRBRPF-04)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム (プログラム[PRBRPF-05] / 1913年 / 表紙:テオドール・フェドロフスキーによる水彩画 / パリ、シャンゼリゼ劇場) Russian Ballet / 1913 / water color by Fedorowsky, Theodor / Paris, Theatre de Champs-Elysees / 27.3×19.0 / p.56 (PRBRPF-05)
- ◆1911年祝賀式特別シーズン、ロイヤル・オペラ ロシア帝室バレエ団公演 オペラとバレエのあすすじ・ポートレート・パイオグラフィー(書籍[BK-0953-p] / 1911年 / ロンドン、ジョン・ロング出版) Coronation Season Covent Garden 1911, Royal Opera and Imperial Russian Ballet Plots of the Operas and Ballet, Portraits and Biographies / 1911 / Published by John Long Ltd./London(BK-0953-p)
- ◆セルジュ・ディアギレフの契約書(書類[AU-081] / タイプ及び直筆、署名入り / 1908年) Typed and handwritten contract signed of Diaghilew, Serge / 1908 / 1 Page (Letter pad is printed "Festival Russa a l'Opera / Sous le Patronage de LL. A. II. le Grad- Duc et la Grade- Duchesse Wladimir / Mai-Jui 1908) (AU-081)
- ◆マチルダ・クシェシンスカヤのポートレート、作者不詳(水彩画[PA-03] / 1900年代) Portrait of Kshesinskaya, Mathilda / 1900's / Water colored on paper bord / 28.8×21.3 (PA-03)
- ◆『ジゼル』第1幕の衣裳デザイン、水彩、アレクサンドル・ブノワ(水彩画[PA-01] / 1900年代) Design of costume for "Giselle" act1 / 1900's / Water colored on paper / 24.2×16.0 (PA-01)
- ◆セルジュ・ディアギレフのポートレート(リトグラフ[PA-07] / 1991年) Portrait of Diaghilew, Serge / 1991 / Lithograph / 36.9×30.0 (PA-07)
- ◆スラヴ伝説の鳥を踊るロシアの有名なダンサー、タマラ・カルサヴィナ、レオン・フォーレ画、『ザ・スフィア』誌より(プリント[AP-282] / 1910年7月9日) Karsavina, Tamara The Famous Russian Dancer, As The Bird In The Old Slav Legend from "the Sphere" / Drawn by Leon Fauret / 1910.7.9 / Print / 42.5×30.8 (AP-282)
- ◆バレエ・リュス『バリジェンヌの生活』誌より(プリント[AP-283] / 1917年7月16日) <左下写真> Nitchevo- Revue : Les Ballets Russes from "La vie parisienne" / 1917.7.16 / Print / 50.0×34.5 (AP-283)
- ◆『ペトルーシユカ』を踊るワツラフ・ニジンスキー (写真[PH-0394] / 1910年代 / 13.5×21.0) Photograph of Nijinsky, Vaslav in "Petrouchka" / 1910's / 13.5×21.0 (PH-0394)
- ◆オペラ座～さわやかな音楽にあわせて跳びあがるバレリーナとその情景～(リトグラフ[AP-223] / 1840年頃) The Opera, Brisk music Gayer Scenes announces and in a Hal f-dressed danseuse Bounces / A.C.Shalon, / 1840c. / 28.5×21.0 (AP-223)
- ◆『シルフィード』を踊るタマラ・カルサヴィナとそのサイン(鉛筆画[PC-1335ws] / ドイツ) Tamar Karsavina "Les Sylphides" with signature / Germany / Verlag Herm. Leiser, Berlin-Wilm (8423) / 8.7 x 13.7.post card / 9.6×9.9 (PC-1335ws)
- ◆ロバート・モンテネグロ・版画集『ワツラフ・ニジンスキー』より『牧神』『牧神の午後』(リトグラフ・紙[AB-19] / 前文:C.W.ボームト / C.W.ボームト、カンパニー・ファイン・アート・パブリッシャー(イギリス)刊 / 1922年) Robert Montenegro, Vaslav Nijinsky: An Artistic Interpretation of His Work in Black, White and Gold, Faun in "L'Après-midi d'un faune" / 1922 / 38.0×28.5 (AB-19)
- ◆ジョルジュ・バルビエ・版画集『ワツラフ・ニジンスキー』より『金の奴隷』と『ソベイダ』(『シェエラザード』より)、『薔薇の精』と『少女』(『薔薇の精』より)、『バレリーナ』と『ペトルーシユカ』(『ペトルーシユカ』より) (リトグラフ・紙[AB-5] / ラ・ベル・エディション(フランス)刊 / 1913年) George Barbier, Dessins sur les Dances de Vaslav Nijinsky, Spirit of rose and young girl in "Le Spectre de la rose", Ballerina and Petrouchka in "Petrouchka", Golden Slave and Zobeïde in "Sche'he'razade" / 1913 / 33.2 x 28.0 (AB-5)